

桜中だより

長崎市立
桜馬場中学校
校長 大塚 潤

生徒会とバトンタッチ

一人一人の当たり前のレベルを上げよう

1月9日(木)に、生徒会の引継式が行われ、旧会長から、新会長に校旗が手渡されました。旧会長が堂々とした最後の演説を行い、旧役員に全校生徒から大きなねぎらいの拍手が送られました。

その後、新会長が次のような就任挨拶を行いました。

新会長挨拶

皆さんこんにちは。新生徒会長になりました。

旧生徒会役員の皆さん、1年間私達のために様々な活動をしてください、ありがとうございました。皆さんの活動をしっかりと引き継ぎ、活気あふれる桜馬場中学校にしたいです。



新 生徒会長 堂々の就任挨拶

します。

私達生徒会は、専門部活動をより充実させていきたいと思っています。私は桜中の課題として、桜色のあいさつなどの当たり前のことが、できていない人、できていない人の差があるのではないかと考えます。

そのため、まずは専門部と協力して呼びかけなどを強化していきたいと思っています。

また、私の公約でもある「全校生徒の考えを取り入れた学校に」を達成するためにボックスを設置し、そこで皆さんの悩みを教えてください、と思います。

最後になりますが、生徒会は全校生徒でつくるものであり、生徒会役員だけでは決して創り上げることはできません。気持ちよく学校生活を送るためにも今期生徒会へのご協力をお願いします。全校生徒全員で桜中を創り上げていきましょう。

専門委員長・評価委員

- ☆学 習
- ☆厚 生
- ☆文 化
- ☆放 送
- ☆生活安全
- ☆整 美
- ☆図 書
- ☆正義の味方
- ☆保健体育

上が専門委員長、下が評価委員です。

3学期の学級委員

まじりの学期・つなげる学期をようこー！

3学期の抱負

3年4組

いよいよ3年生最後の学期が始まりました。今、身が引き締まる気持ちです。2学期を振り返ると、合唱コンクールでは、クラスの団結力を高めることができました。私自身は、生徒会活動を通して、仲間と協力することの大切さや、自分の役割を全うする意義を学びました。3学期はその経験を生かし、学級委員として、率先して行動します。学級のみながコミュニケーションをとりやすい雰囲気づくりに努めます。

3年生にとってこの学期は、進路を決定し、新たな環境へ飛び立つ準備をする大事な時期です。だからこそ今、私達3年生には心がけたいことが3つあります。

1つ目は、当たり前の日常に感謝すること。私達はこの3年間、いつも家族や先生方、仲間を支えられてきました。日常で感じる小さな喜びにも感謝できる3年生でありたいと思います。



校旗の引継ぎ

2つ目は、時間を大切に使うこと。卒業までの時間は限られています。その短い時間で、これまでともに学び支え合ってきた仲間と最高の思い出をつくりたい。受験においては、毎日の小さな積み重ねが大きな実りにつながるように前に進んでいきます。そして、自分の努力を自信にして全力で受験に臨みます。

3つ目は、意識を高めること。受験は自分の未来を切り拓いていくためのものです。中学校生活の締めくくりとして、更に成長できるように努力していきます。そのために、仲間と一緒に勉強したり、教え合ったりすることで、受験に向けた意識を高めていきたいです。そして、「全員が第一希望の高校へ合格するんだ」という雰囲気や学年全体でつづいていきましょう。

3学期は、中学校生活の集大成です。あいさつや礼儀を大切に、模範となるような行動を心がけます。桜中での経験を糧にし、「桜の誇り」になつて、笑顔で卒業式の日を迎えたいと思います。

2年生のいいところは、一人一人の個性であふれ、元気で活発なところだと思います。私は中学校に入学してバドミントン部に入部しました。今までの練習や試合の中で先輩方にはいろいろな目指したい姿を見させてもらいました。新チームになって、1年生に目指してもらえらるような姿を見せてあげられるように、先輩方やコーチ、顧問のお二人に教わったことをしっかりと身に付け、残り少ない試合で結果を残せるように頑張ります。

3つ目は、「最高学年」としての自覚をもつことです。私達2年生はもうすぐ最高学年。来年度は特に進路のことや悩むことが多くなると思います。学習面としては、苦手教科と得意教科との差をなくし、日ごろから予習・復習の習慣を身に付けることで、志望校合格に一步步近づけるように頑張ります。また、提出物や授業態度など、学年全体で学習への意識を高くしていきましょう。課題を解決し、下級生の手本となる存在を目指します。

2年生のいいところは、一人一人の個性であふれ、元気で活発なところだと思います。私は中学校に入学してバドミントン部に入部しました。今までの練習や試合の中で先輩方にはいろいろな目指したい姿を見させてもらいました。新チームになって、1年生に目指してもらえらるような姿を見せてあげられるように、先輩方やコーチ、顧問のお二人に教わったことをしっかりと身に付け、残り少ない試合で結果を残せるように頑張ります。

3つ目は、「最高学年」としての自覚をもつことです。私達2年生はもうすぐ最高学年。来年度は特に進路のことや悩むことが多くなると思います。学習面としては、苦手教科と得意教科との差をなくし、日ごろから予習・復習の習慣を身に付けることで、志望校合格に一步步近づけるように頑張ります。また、提出物や授業態度など、学年全体で学習への意識を高くしていきましょう。課題を解決し、下級生の手本となる存在を目指します。

3つ目は、「最高学年」としての自覚をもつことです。私達2年生はもうすぐ最高学年。来年度は特に進路のことや悩むことが多くなると思います。学習面としては、苦手教科と得意教科との差をなくし、日ごろから予習・復習の習慣を身に付けることで、志望校合格に一步步近づけるように頑張ります。また、提出物や授業態度など、学年全体で学習への意識を高くしていきましょう。課題を解決し、下級生の手本となる存在を目指します。

3つ目は、「最高学年」としての自覚をもつことです。私達2年生はもうすぐ最高学年。来年度は特に進路のことや悩むことが多くなると思います。学習面としては、苦手教科と得意教科との差をなくし、日ごろから予習・復習の習慣を身に付けることで、志望校合格に一步步近づけるように頑張ります。また、提出物や授業態度など、学年全体で学習への意識を高くしていきましょう。課題を解決し、下級生の手本となる存在を目指します。

3つ目は、「最高学年」としての自覚をもつことです。私達2年生はもうすぐ最高学年。来年度は特に進路のことや悩むことが多くなると思います。学習面としては、苦手教科と得意教科との差をなくし、日ごろから予習・復習の習慣を身に付けることで、志望校合格に一步步近づけるように頑張ります。また、提出物や授業態度など、学年全体で学習への意識を高くしていきましょう。課題を解決し、下級生の手本となる存在を目指します。

3つ目は、「最高学年」としての自覚をもつことです。私達2年生はもうすぐ最高学年。来年度は特に進路のことや悩むことが多くなると思います。学習面としては、苦手教科と得意教科との差をなくし、日ごろから予習・復習の習慣を身に付けることで、志望校合格に一步步近づけるように頑張ります。また、提出物や授業態度など、学年全体で学習への意識を高くしていきましょう。課題を解決し、下級生の手本となる存在を目指します。

3つ目は、「最高学年」としての自覚をもつことです。私達2年生はもうすぐ最高学年。来年度は特に進路のことや悩むことが多くなると思います。学習面としては、苦手教科と得意教科との差をなくし、日ごろから予習・復習の習慣を身に付けることで、志望校合格に一步步近づけるように頑張ります。また、提出物や授業態度など、学年全体で学習への意識を高くしていきましょう。課題を解決し、下級生の手本となる存在を目指します。

知ってますか？前頭葉の力

「ゲームなどのやり過ぎはダメだよ」と言われて我慢する力は、前頭葉の力。子どもの頃はまだまだ未熟で、5歳から25歳になるまで成熟・発達が続く。集中・判断・我慢・学習の機能を担っているのが前頭葉。この機能のおかげで、時間をかけた勉強や練習ができる。その成果で学力や技術が向上したり、他人に褒められたりすると、脳内では、快楽物質であるドーパミンが放出されて幸せを感じる。

では、ネット・ゲームをしているときはどうか？ネット・ゲームをしているときは、脳内のドーパミン分泌が頻繁に認められる。時間もかけず、我慢や学習もせず、すぐにドーパミンが頻繁にたらたらと分泌されると、前頭葉の仕事がなくなり、機能が落ちて、前頭葉が発達せず、あるいは萎縮してくる。

すると衝動や欲望のコントロールができなくなり、ネット・ゲーム依存に進行する。ドーパミンにさらされた前頭葉は、ドーパミンが分泌されても幸せを感じなくなり、ドーパミンが分泌されなくなると、不安や怒りを感じるようになり、ゲームをしていないといられない状態になってしまう。ドーパミンも枯渇してくるので、ゲームをしても幸せを感じなくなる。

ネットは便利だけれど、危険性があるということ。「楽しい」「疲れない」「飽きない」を満たす依存物であるということ。そして過剰使用は、脳にダメージを与えてしまうものだということを、私達大人がしっかりと伝える必要がある。

家庭で約束ごとを親子で考える巳年に、桜中メディコンクールをしっかりと実践する2025年にしましょう。

1年生「目標解答数を意識」500問を意識して取り組んでいる生徒が多かった。

2年生「教科のバランスを意識」教科のバランスを考えながら取り組んでいる生徒が多かった。

3年生「必要性」を意識。問題集や参考書などと併用しながら活用している生徒が多かった。

1年生「解くだけ」からの脱却を。数にこだわらぬ大切だけ、解説

2年生「教科のバランスを意識」教科のバランスを考えながら取り組んでいる生徒が多かった。

3年生「必要性」を意識。問題集や参考書などと併用しながら活用している生徒が多かった。